

まちの声

今回の「まちの声」は、妹背牛商

工会女性部長の「田湯 恵子さん」から、お話を伺いました。



「お父さんから菅商会を引き継ぎ50年以上たちました。現在は婦人服を主流に営んでいます。」

最初は、かわいい服を着てもらいたいと夫婦二人三脚で手探りの中で始めた事業。子供服とは何だろうと自問しながらの取り組みや苦労されてきた経験から語ってくれました。

Q 「議会だより」読んでの感想を聞かせてください。

A 「議会だより」は、時々読んでいます。読み始めると内容が分かりやすく、読みやすくて紙面が工夫さ



れていると実感しています。多くの議員さんがいろんな角度から質問されていることが紙面を見て知ることができると思います。

Q 常日頃大切にしていることはありますか

A お買い物に来るお客様とお話することが多くあります。お客様からいろいろな情報も入ってきて、妹背牛の様子を知ることができます。「お客様との話は元気の源」お客様は大切にしなければと思います。その中で札幌から来たという方から、妹背牛はいろいろな制度が進んでいると聞きました。引き続き頑張つてほしいと思っています。

Q これからの要望することやお気づきの点ありましたらお聞かせください

A 現在は人口が減少してきていますが、各商店ではいろいろなイベン

トや企画にと努力されています。

農家の方や労働者、若者が住みやすい、住んでいてよかったというマチづくりも大切かと思えます。商店経営者も担い手不足でこれからどうなるのだろうと考えさせられています。条件は悪くなるけれど、それを町民のみなさんと議会を取りあげていければと思います。

元妹背牛高校の跡地はどのように考えているのか、議会でのように話されているのか知りたいところです。また、妹背牛の人口減少にどのような対策を考えているか気になる所です。

議会の様子がYouTube配信されていることを知りました。議場に行かなくても自宅で議会が身近なものになるといいですね。これからも多くの人が視聴できるように宣伝してほしいと思います。

前号の訂正について

No.195 議会だよりのまちの声にてお名前の表記に誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

訂正前 佐藤勇吾さん
訂正後 佐藤勇伍さん

編集後記

今年の5月8日に、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行されました。コロナと共存となった社会では、3年間続いた自粛生活から解放され、小・中学校の運動会・記録会は昨年までは保護者も人数制限されておりましたが、今年は多くの父兄や祖父母の方々が観覧されました。また、商工会の遊歩市・農協青年部・商工青年部のビールパーティーも4年ぶりに盛大に行われました。感染は、完全収束とは言えませんが大きな前進です。来場されていた町民の皆さんは、今までにない思いで夏を満喫されたのではないのでしょうか。

さて、今年は妹背牛町議会議員選挙が9月3日に投票票が実施されます。私たち町議会議員の任期も間もなく満了となります。私たち広報特別委員は議会だよりを、4年で16回編集し発行してまいりました。この196号が、任期中での最後の編集発行となります。4年間 町民の皆様から色々々ご意見を頂き本当に有難く改めて感謝申し上げます。有難う御座いました。今後も代が代わりましても町民の皆様の貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

広報特別委員会

委員長 佐々木和夫
副委員長 田中 春夫
委員 渡辺 倫代